



見どころ・聞きどころ … 体験談発表のワンポイント!

改善事例：総合部門 / JHS部門

総合部門 No.101	TOTOハイリビング株式会社	陶器梱包材返却率100%への挑戦
「一人の知識をみんなの知識に」をスローガンに、各々が持っている専門知識を最大限に活かし、固定観念に捕らわれず様々なアプローチから課題解決の道を探すサークルです。そのため思いもよらない意見が度々出ますが、否定せずにはまず事実を確認・検証してみる事を心がけています。また、活動の項目毎に主担当を決めて推進することで、それぞれが責任感をもって取り組めるように工夫しており、週1回の会合の出席率は出張や休暇のメンバーを除いて100%を達成しています。廃棄物の削減というありふれたテーマに対して、技術部らしく論理的なアプローチで最適な対策を導き出そうとしている所を特に見て頂きたいです。		
No.102	ネグロス電気株式会社	ロボット溶接ライン セットST部材セット不良撲滅
我々、INFINITYは電路支持材のメインである、直線・分岐ケーブルラックの溶接組立工程を担当しています。その中の直線ケーブルラックをロボット溶接で生産している設備ですが、以前より部材セット不良に悩まされていました。今回はその部材セット不良を撲滅する活動となりますが、やはり以前から苦勞していただけあって一筋縄ではいきませんでした。我々の苦勞とアイデアの戦いをご覧下さい。		
No.103	住友建機株式会社	TTBインナー締結機における中断エラーの撲滅
私達は油圧ショベルの組立を担当しています。近年取り沙汰されているデータ改ざん防止や製品安全保証の観点から信頼強化を図るべく、自職場にもトレーサビリティを備えたボルト締結設備を導入しました。しかし運用を開始し矢先、締結機の“中断エラー”が頻発してしまう問題が浮き彫りとなりました。お客様の安全を守る為に期待を込めて導入した設備。弊社品証部も頭を抱えていた難題に挑戦し、解決に導いた事例を是非ご覧下さい。		
No.104	日鉄SGワイヤ株式会社	サプライスタンドの使用方法を見直して使い易くしよう
私たちの職場は過流探傷検査によるオイルテンパー線の全長検査を行っています。サークルメンバーの平均年齢は51歳と少しだけお兄さんですが、ベテランの阿吽の呼吸で日々楽しく働いています。そんな私たちの活動ですが、今回はサプライスタンドの使用方法の見直しを行いました。見どころは安全性、作業性を向上させる為ひとつずつ問題を解決して行く所を見てもらいたいと思います。		
No.105	日鉄物流株式会社	鉄コマ交換時のリスク低減
私たちは、東日本製鉄所君津地区、熱延工場内のクレーン運転操業・在庫管理・搬送設備運転管理を行っております。今回の活動は、重量物取扱い作業における挟まれリスクに着目し、一度治具を製作し安全対策完了と思われましたが、その後問題が発生。事後対策を含め発案から製作までサークル員だけで行い、現場力向上に繋がりました。		
No.106	日鉄テックスエンジ株式会社	玉掛けスキルアップで目指せ、ゼロ災害!!
私たちの職場は東日本製鉄所君津地区構内に拠点を置き、電動機の整備を日々行っています。今回の活動は、電動機整備において必須のスキルである「玉掛け」に焦点を当て、若年層のスキルを向上させる事が出来た事例です。主な内容は、教育用のシミュレーターを作製する事で若年層の教育がより分かりやすいものになりました。検討を重ねて、より良いものを作っていく活動をご覧ください。		
No.107	合同製鐵株式会社 船橋製造所	電気炉出鋼口地金除去作業の改善による安全性向上
ご安全に！メンテナンスサークルEXです。合同製鐵 船橋製造所では電気炉で鉄を溶かし、建物の骨組みとなる鉄筋棒鋼を製造しており、私たちは製造設備の整備を担当しております。今回の改善は溶鋼に接近し手作業で固まった鋼を除去するという、危険な作業に対して、除去装置を設計製作し、取付けることで安全性・作業性を向上させたものです。生産ラインと整備係が他部署という壁を越えて一丸となり、取り組んだ改善です。		
No.108	株式会社ホリキリ	工場・外部倉庫間の横持便台数削減
私達、ONE.PIECEサークルは商用車用サスペンションばねの製造を手掛ける専門メーカーである(株)ホリキリに所属しており、本社工場から外部倉庫までの製品の輸送、製品に使用する部品管理を行う職場になります。発表テーマは工場・外部倉庫間の横持便台数削減となります。見どころは、失敗や現状把握など試行錯誤の末、なんとか対策が出来たところです。発表は数分ですが、私たちの数か月間が詰まっています事を思い、見ていただくと幸いです。		
JHS部門 No.201	住友建機株式会社	トルクレンチ校正作業における管理職の工数削減
ご安全に！OMGサークルは、生産技術課の組立チームのメンバーで構成されており、日々業務では現場改善や設備の導入などに取り組んでいます。今回、製造部門が行っているトルクレンチ校正作業に目をつけ、未然防止型に則り対策を行いました。結果として、現場のデジタイゼーションを推進し、管理職の工数削減に加え品質向上を実現することができました。活動を通して得たメンバーの成長を是非ご覧ください。		

昨年度 聴講参加企業 (順不同・敬称略)

エヌデーシー(株) (株)ホリキリ 合同製鐵(株) 沢井製薬(株) 住友建機(株) 高砂鐵工(株) 日本製鐵(株)鹿島地区 日本食研(株) 日鉄物流(株) 日鉄テックスエンジ(株) 日鉄テクノロジー東日本事業所 濱田重工(株) ライオン千葉工場 理研ビタミン(株) JFEスチール(株) TOTOハイリビング(株) 東邦シートフレーム(株)